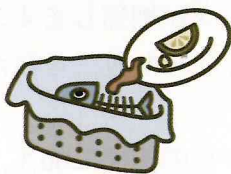


# 私たちにできる霞ヶ浦浄化対策 10ヶ条

～霞ヶ浦の汚れの原因の一つは「生活排水」です～

みんなで次のことを守り、霞ヶ浦の水質浄化に努めましょう。

1 台所では目の細かいストレーナーまたは三角コーナーの設置や、水切りネットなどで細かいごみを取り除きましょう。



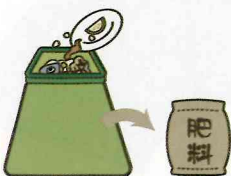
2 天ぷらなどの廃油はリサイクルの一環として回収を推進しましょう。  
また、回収が困難な場合は使い切るか、新聞紙などにしみ込ませたり、固化剤で固めたりしてごみとして出しましょう。



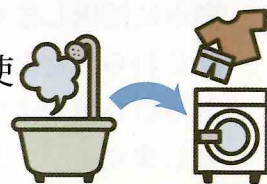
3 なべや皿の汚れはゴムベラで落としたり、紙でふいてから適量の洗剤で洗いましょう。又はアクリルたわしを利用しましょう。



4 台所の調理くずはコンポストなどで堆肥にして使いましょう。



5 お風呂の残り湯は有効に使いましょう。



6 水路や側溝などを定期的に清掃しましょう。



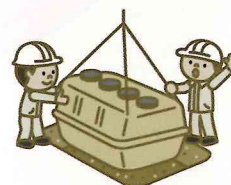
7 川や湖や側溝にごみを捨てないようにしましょう。



8 庭木や草花、菜園などへの肥料や農薬は使いすぎないようにしましょう。



9 下水道などへの接続や高度処理型浄化槽を設置しましょう。



10 浄化槽は定期的に点検し、清掃、検査しましょう。



地球環境保全のために「モットイナイ」の暮らしを心掛けましょう。



## 霞ヶ浦問題協議会

霞ヶ浦水質浄化シンボルマーク

# 霞ヶ浦の水質汚濁の原因

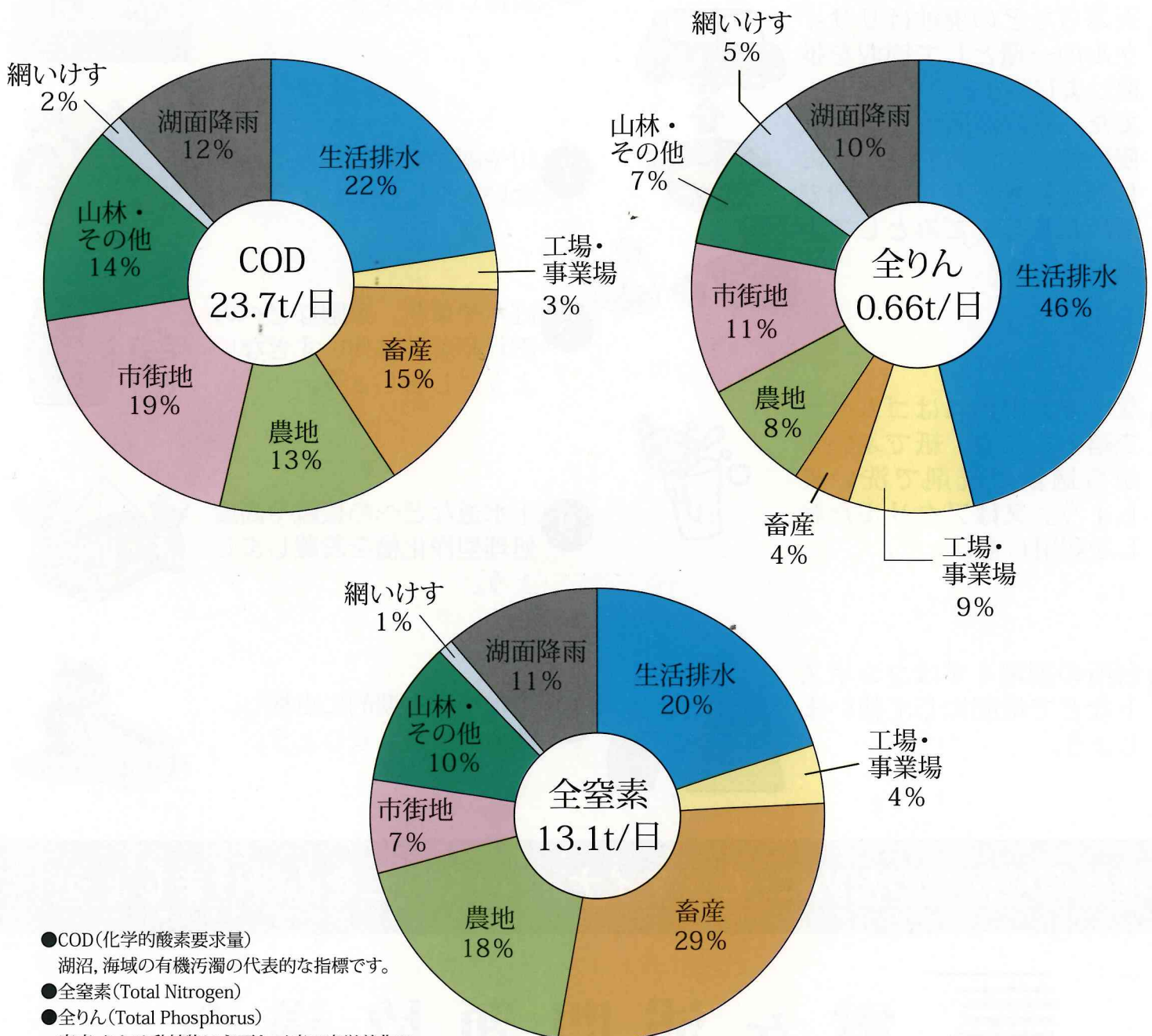
霞ヶ浦の水質汚濁の原因は、大きく2つに分けることができます。

ひとつは、河川などを通じて直接有機物質や窒素・りんが霞ヶ浦に流れ込むものです。汚れの発生源は、流域内の約96万人の生活排水や工場・事業場、牛・豚などの畜産、農地、市街地、湖内のコイ養殖などです。また、自然由来の森林からの負荷や湖面への降雨もありますが、森林はそこに降った雨の汚れを削減して排出しています。

もうひとつは、霞ヶ浦の中で増えるものです。湖底に堆積している泥（底泥）から窒素、りんなどが湖水に溶出します。

これらの窒素、りんを栄養源にして植物プランクトンが増殖します。植物プランクトンが増えすぎるとCOD値が上昇するだけでなく、水の透明度が低くなったり、それが腐敗することで悪臭を発生したりします。

このように、河川を通じた汚濁物質の流入や底泥からの溶出に加え、湖内で植物プランクトンが大量に増殖することにより霞ヶ浦の水質が悪化してしまいます。



- COD(化学的酸素要求量)  
湖沼、海域の有機汚濁の代表的な指標です。
- 全窒素(Total Nitrogen)
- 全りん(Total Phosphorus)  
窒素、りんは動植物に必要な元素で富栄養化の指標となります。

注) 数値は平成27年度のものを示す。